

がんサポ通信

第40号
令和2年10月14日発行
緩和ケア委員会

令和2年度 緩和ケア講演会 を開催しました。
(第3回 地域連携緩和ケア協議会)



9月1日に 山形県立中央病院 緩和医療科 神谷浩平先生を迎え

『現場で実践するアドバンス・ケア・プランニング～今、誰もが大切な人に～』という
題目で講演会が行われました。

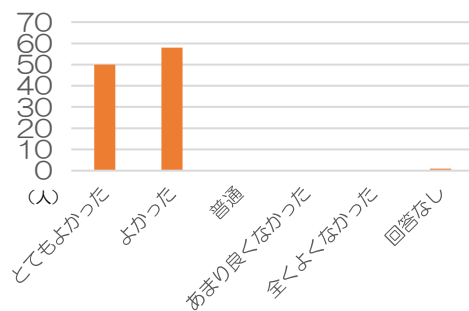
コロナ感染対策からソーシャルディスタンスを考慮し、会場を2か所にわけ、院内外から
133名の参加がありました。

講演では、本人の意向を尊重した質の高いケアを実践するためにACPは重要な手段であること。
また、ACPの実践にあたってはプロセスを重視し、その人の背景や人となりの共有や関係性の
構築であることを学びました。

参加者からは、「自分もいつ患者側になるかわからない。両方の立場になって考えていきたい」
「1時間では語りつくせない内容でした。もっとゆっくり時間をとって、ACPの話聞き、
看護に活用したいと思う内容です。患者さんの思いに
寄り添うことができるよう努力します。」などの意見が
ありました。

参加者 133名 アンケート回収数 109名 アンケート回収率 89.95%

今回の勉強会は診療や業務に
役立つと思いますか



この講演は、10月31日まで「Safety Plus」
で視聴可能となっています。
ぜひ、ご覧になってください。



おしらせ



精密持続注射で医療用麻薬を使用している患者さんが、
外泊を希望した場合、アイフューザープラス (PCA ポンプ)
を使用し、残された時間を少しでも自宅で過ごすことができ
ます。患者さんの希望を叶えるために、ぜひご利用ください。
ご希望の方は、緩和ケアセンターまでご相談ください。

緩和ケアの申し込み・問い合わせは
緩和ケアリンクナースまたは、
緩和ケアセンター (内線 3880) まで

